



実り豊かな生活文化都市

# 中央市

# 議会だより

2022  
November

Vol. 67

地元の  
味わい



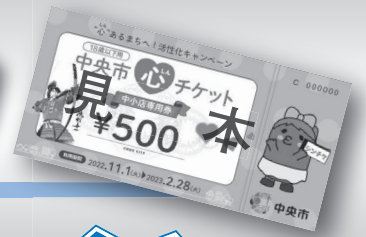
写真：浅利 熊之原のワイン用ぶどう畑

- P 2 特集：活性化キャンペーン第4弾
- P 4 令和3年度決算概要
- P 8 9月定例会で決まったこと
- P 11 審議結果

- P 12 市長の行政報告
- P 13 一般質問に8議員
- P 17 委員会レポート
- P 20 市民の談話室・編集後記

■発行日：令和4年11月1日

# 活性化キャンペーン



第4弾

2度目の

## “シンチケ”事業

第2弾の  
商品券事業が  
パワーアップして  
帰ってきた?!

配布対象	令和4年9月1日現在に中央市住民基本台帳に登録のある市民 10,000円分（共通券：3,000円分 中小店専用券：7,000円分）
発行券種	18歳以下は中小店専用券を5,000円分加算 ←NEW !! ※共通券は全対象店舗で利用可能、中小店専用については大型店使用不可。
利用期間	令和4年11月1日(火)～令和5年2月28日(火)
引換方法	世帯ごとに送付された商品券引換通知を引き換え場所へ持っていき、世帯分の商品券を受け取る。 ※原則、世帯主の受け取りですが、同一世帯の人に限り、委任状を提出することで受け取り可能。
引換期間	令和4年11月1日(火)～令和4年12月28日(水)の平日(祝日を除く) 及び日曜日 午前9時～午後6時 ※金曜日のみ午後7時 ←NEW !!
引換場所	中央市役所南館 産業課：平日及び12月18日、25日の日曜日 玉穂支所：11月6日、20日、12月4日の日曜日 豊富支所：11月13日、27日、12月11日の日曜日
利用対象店舗	商品券の引き換え時に利用可能な店舗の一覧を配布します。 ※市のホームページでは利用可能店舗が随時更新されていきます。 ※利用可能な店舗にはのぼり旗やポスターが掲出されます。

### 市内でお店を営む方へ

#### 利用対象店舗となるには、産業課へ申請が必要です!!

※ただし第2弾の際に登録されている店舗は自動登録されています。  
辞退や変更のある場合は連絡が必要です。

要件	市内に店舗、事業所を有するもの
申込方法	登録申請書に必要事項を記載し市役所産業課へ提出 ※第2弾の際は商工会を通して登録だったものが、 今回は産業課で直接登録することとなりました。 ←NEW !!
登録費用	無料
申込期限	キャンペーン期間中は随時申し込み受付中 ※商品券引き換え時に配布されるチラシには掲載されません。

# 特集

# 市民応援“心”あるまちへ!

長引くコロナ禍と物価高騰の対応策として、市民のみなさんの生活と市内の事業所を応援するため“心”あるまちへ!活性化キャンペーン第4弾として、全市民を対象に再び地域活性化商品券が配付されます。令和4年9月定例会でこの事業に関する補正予算案が提出され、審議しました。

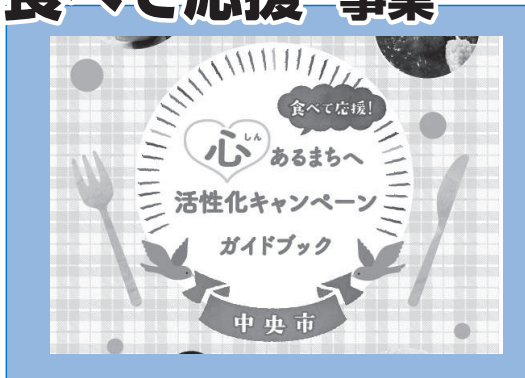
今回は過去に実施された第3弾までを振り返りながら、第4弾の事業内容を紹介します。

## これまでの“心”あるまちへ! 活性化キャンペーン

### 第1弾

期間：令和2年8月～  
令和2年11月末

### “食べて応援”事業



事業に参加している市内の飲食店の利用代(上限1万円)を半額助成しました。タクシーによる料理の宅配サービスもあわせて実施されました。

### 第3弾

期間：令和4年2月～  
令和4年3月末

### “PayPay”事業



市川三郷町と合同で行ったキャンペーン。対象の店舗でPayPayを利用して決済をした方に最大30%のPayPayボーナスを還元しました。この期間、PayPayを使った決済が、中央市だけで11億円を超えました。

### 第2弾

期間：令和3年9月～  
令和4年1月末

### “シンチケ”事業



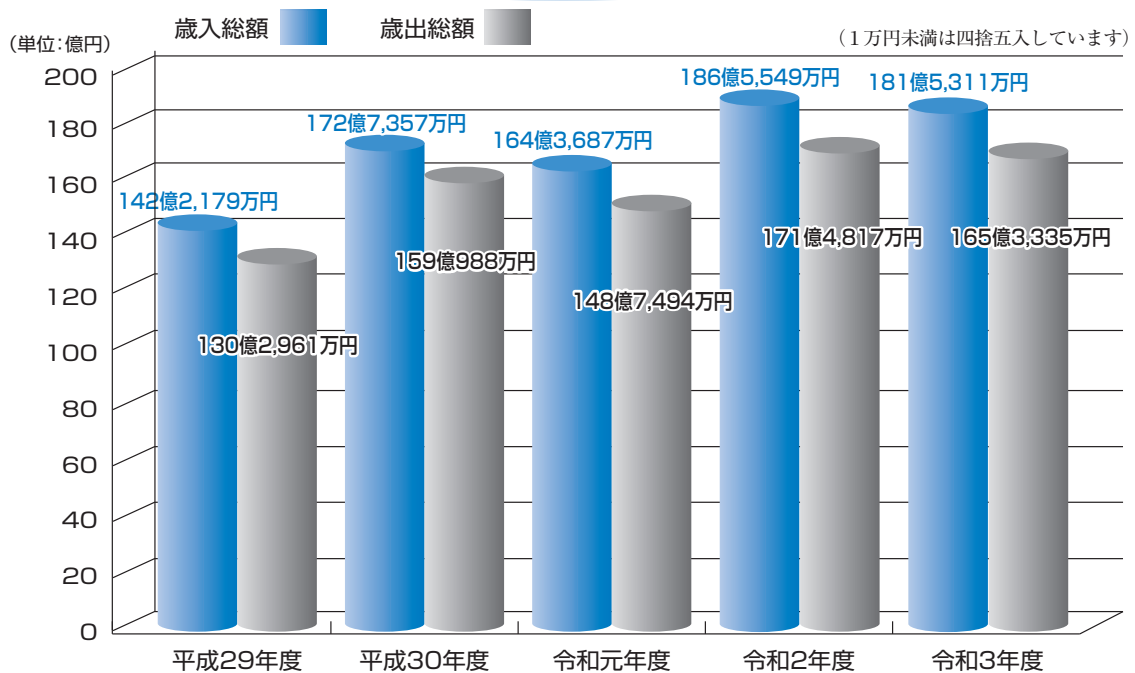
事業に参加している市内の店舗で使える一人1万円分の商品券を配付しました。

## 令和3年度 一般会計

# 歳出 165億3,335万円 を認定

9月定例会が、9月2日から26日までの25日間の会期で開催され、市長提案の令和3年度一般会計・特別会計・企業会計の歳入歳出決算認定10件、条例案件4件、補正予算7件、その他の案件2件と報告4件、また、請願1件、議員提出議案2件を審議しました。

## 過去5年間の決算額の推移



一般会計の決算額は、歳入総額181億5,311万円、歳出総額165億3,335万円  
で歳入歳出差引額16億1,977万円となりました。

財政状況を表す経常収支比率(※1)は81.9%と昨年度よりも5.8ポイント減少し、  
財政力指数(※2)は0.67となりました。

## ※1 経常収支比率

政策的にある程度自由に使える金額と、人件費や社会保障費、借金の返済など使い道が決まっていた縮減が難しい金額との比率を指します。この数値が高いと新規事業や臨時の費用が必要となるときに資金を充てることが難しくなってしまいます。

## 用語解説

## ※2 財政力指数

財政力の強弱を示す指数で、経常収支比率とは反対に、数値が高いほど(1.00に近い、あるいは1.00を超えるほど)財政に余裕があるとされています。

## 中央市の借金と貯金の状況は？

借金(市債の令和3年度末現在高) 286億5,694万円

※一般会計・各種特別会計・企業会計を含む

市民1人あたり…約94万円

貯金(基金の令和3年度末現在高) 92億5,779万円

市民1人あたり…約30万円

## 令和3年度一般会計・特別会計決算額

(1万円未満は四捨五入しています)

会 計		歳 入	歳 出	差引額
一 般 会 計		181億5,311万円	165億3,335万円	16億1,977万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	31億7,213万円	31億3,225万円	3,988万円
	後 期 高 齢 者 医 療	3億2,076万円	3億1,876万円	200万円
	介 護 保 険	22億3,152万円	20億9,758万円	1億3,394万円
	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	770万円	770万円	0円
	田 富 よ し 原 処 理 セ ン タ ー 事 業	1億3,276万円	7,052万円	6,224万円

### 討 論

#### 一 般 会 計

反  
対

一般会計からの貸し出しの返済として国保会計からの繰り入れがあるが、国保の現状を考えると繰り入れは中止すべき。また、子どもの医療費無料化の国からのペナルティ分の国保会計への繰り出しがない。そもそも第一に市民の医療費を減免する自治体の事業にペナルティをかける国のやり方が間違っていると思うが、ペナルティが現にある以上、これについては一般会計から補填するべきである。

#### 国 民 健 康 保 険 特 別 会 計

反  
対

一般会計への繰り出しあるが、繰り出しが可能な財源があるのであれば、市は国保税の引き下げなどの被保険者への支援を行うべき。少なくとも基金に積み立てるなどで将来の引き上げのリスクを減らすべきで、一般会計への繰り出しは行うべきではない。また、一般会計決算の討論でふれたとおり、国からのペナルティについては国保会計内でやり繰りするのではなく、一般会計から繰り入れるべき。

## 令和3年度各企業会計決算額

(1万円未満は四捨五入しています)

	収益的収入および支出		資本的収入および支出	
	収入	支出	収入	支出
簡易水道事業会計	1億6,547万円	1億7,192万円	5,230万円	9,537万円
公共下水道事業会計	8億393万円	7億5,478万円	7億1,941万円	8億4,165万円
農業集落排水事業会計	2億5,187万円	2億4,428万円	1億828万円	1億4,201万円
上水道事業会計	2億9,008万円	2億3,873万円	8,580万円	2億7,610万円

## 財政健全化判断比率および資金不足比率

都道府県や市区町村には「実質赤字」「連結実質赤字」「実質公債費」「将来負担」の4つの指標と公営企業会計ごとの「資金不足」の比率を毎年度公表することが義務づけられています。一定の基準を超えると、財政健全化計画を策定して県や国への報告が必要になったり、総務大臣の許可を得なければ地方債が発行できなくなったりします。

中央市の令和3年度の数値は以下のとおり全て基準を下回っており、財政状況が著しく悪化している状況にはないことが示されました。

### 令和3年度 財政健全化判断比率

(単位:%)

健全化判断比率	令和3年度	令和2年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	— (△14.84)	— (▲16.39)	R2年度 13.66 R3年度 13.58
② 連結実質赤字比率	— (△23.04)	— (▲25.40)	R2年度 18.66 R3年度 18.58
③ 実質公債費比率	7.6	8.2	25.0
④ 将来負担比率	—	23.6	350.0

※ ーは黒字を表し、( )内は参考数値です。また、将来負担比率のーは将来負担額に充当可能な財源額が将来負担額を上回っていることを示します。

## 用語解説

○実質赤字比率…一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率

○連結実質赤字比率…全会計を対象とした実質赤字額または資金の不足額の標準財政規模に対する比率

○実質公債費比率…一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、3か年度の平均

○将来負担比率…損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

○標準財政規模…標準的な状態で、通常収入されると見込まれる経常的な一般財源の規模を示すもの ※令和3年度中央市は87億987万円

### 令和3年度 資金不足比率

(単位:%)

事業会計	令和3年度	令和2年度	経営健全化基準
上水道事業会計	— (△133.5)	— (▲136.9)	20.0
簡易水道事業会計	— (△101.2)	— (▲106.0)	20.0
公共下水道事業会計	— (△4.2)	— (▲43.7)	20.0
農業集落排水事業会計	— (△170.1)	— (▲39.1)	20.0

※ ーは黒字を表し、( )内は参考数値です。

### 資金不足比率とは

地方公共団体の各公営企業会計の資金の不足額の度合いを表す指標。公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較することで、経営状態の悪化の度合いを示す指標。

# 監査委員の決算審査意見書

要 旨

監査委員

名 中 佐  
執 橋 藤  
義 英  
高 徳 院

## 〈審査の期間〉

令和4年7月4日(月)～27日(水)

## 一般会計・特別会計

## 〈審査の結果〉

各会計の決算書および資料は関係法令に準拠して作成され正確で、予算の執行状況も適正である。

また、基金の運用状況も妥当である。

## 〈決算の要旨〉

一般会計の歳入面では、自主財源は、市税や寄附金などが増加し、自主財源比率が9・4ポイント上昇し、49・0%となっている。

歳出面では、民生費、衛生費、商工費、公債費が増加し、総務費、農林水産業費、土木費、消防費、教育費等が減少した。子育て世帯臨時特例給付金給付事業などの義務的経費、子育て支援総合拠点施設整備工事や玉穂B&G海洋センタ

ー改修工事等の投資的経費が増加した。

特別会計は5会計の合計で、歳入総額が58億6、488万円、歳出総額56億2、682万円で、歳入歳出差引残高の形式収支は2億3、806万円で実質収支も同額となり、単年度収支は1、798万円の黒字となった。

## 〈監査委員の意見〉

新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、経済活動が縮退している。リニア中央新幹線関連事業及び隣接地域への大型店舗の参入が想定され、道路整備等の財源確保が懸念される。今後は、中央市の景観と地の利を生かして、山梨県内観光地、工業団地等へのアクセスエリアとしての位置づけを明確にしたマスタープランを策定し、県と連携してリニア新駅とJR身延線等への新たなアクセスの構築等を考慮した整備を図り、各方面から観光やビジネス等で訪れる機会を多く

作るべきである。そして、優れたアクセス等の利便性を知ってもらい、「住みたいまち、住んで良かった中央市(仮称)」をスローガンに掲げ、工場の進出や移住により定住する人が増加するよう活力あるまちづくりを進めるよう求める。

このための財源確保は、自主財源の拡大が必要不可欠となる。市税等の徴収率アップやふるさと応援寄附事業等の今後の取組みには、早期に成果の上がる他市町村で実績のある事業を参考に事業展開を図り、健全な財政安定化の推進ができるよう提言する。



## 〈審査の結果〉

公営企業会計4会計について、決算諸表は、いずれも関係法令の規定に適合し正確であり、内容も正当である。また、会計諸帳票、証拠書類等の事務管理についても、公正かつ適切に処理され、正確なものである。

## 〈監査委員の意見〉

公営企業会計4会計については、今後の設備更改を見据え、財政状況等に即した料金体系の適正化や、施工方法等の改善により、一層の経費削減と事業の効率化を推進することにより、持続的で健全な経営の推進を望む。

決算以外の9月定例会の上程された案件は以下のとおりです。

## 一般会計補正予算

(1万円未満は四捨五入しています。)

# 7億6,612万円を増額

# 一般会計総額 151億636万円に

### 一般会計補正予算の主な内容

● 総務費	財産総合管理費(東花輪駅前広場防犯カメラ設置)	122万円
	庁舎維持管理事業(庁舎電気料等)	842万円
	鉄道利用通学支援事業	360万円
● 民生費	保育施設等保護者負担軽減事業(民間保育所等給食食材費高騰分補助)	388万円
	公立保育園保育環境整備事業(保育士業務負担軽減のためのICT化)	464万円
	豊富ふれあいプラザ維持管理費	128万円
● 衛生費	予防接種事業(子宮頸がん予防ワクチン自費接種費用の償還)	67万円
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	4,932万円
	新型コロナウイルスワクチン接種事業	1億341万円
● 農林水産業費	土地改良施設等維持管理事業(排水機場等電気料、農業用施設等修繕)	758万円
	土地改良施設等基盤整備事業(地図訂正・更正登記業務委託等)	239万円
● 商工費	“心”あるまちへ!活性化キャンペーン第4弾商品券事業	3億5,240万円
	ふれあい館等管理運営事業(シルクふれんどりいリニューアル設計委託)	1,771万円
● 土木費	公園管理費(成島1号公園防犯カメラ設置)	108万円
● 教育費	リニア建設に伴う田富北小学校移転整備事業(外構工事)	1億200万円
	成人式事業(抗原検査キット購入、検査場所借上げ料)	88万円

## 特別会計補正予算

会計名	補正額	総額
国民健康保険特別会計	590万円	31億6,463万円
後期高齢者医療特別会計	16万円	3億8,522万円
介護保険特別会計	9,440万円	22億1,421万円
田富よし原処理センター事業特別会計	140万円	8,816万円



## 企業会計補正予算

### 農業集落排水事業会計

	補正額	総額		補正額	総額
収益的収入	335万円	2億3,775万円	資本的収入	0万円	1億2,784万円
収益的支出	335万円	2億3,775万円	資本的支出	0万円	1億6,086万円

### 上水道事業会計

	補正額	総額		補正額	総額
収益的収入	0万円	2億8,971万円	資本的収入	0万円	8,467万円
収益的支出	441万円	2億8,636万円	資本的支出	0万円	2億8,244万円

## 条例案件

### ○行政組織機構の改編に伴い内部組織及び事務分掌の変更を行います。

#### ●中央市行政組織条例中改正の件（施行日：令和4年10月1日）

- 【主な改正内容】
- ・企業立地に関し、専門部署を新たに設置するもの。(第1条、第2条関係)
  - ・部署名 企業立地推進室
  - ・事務分掌 企業立地に関すること(企業立地・企業誘致の推進、工場立地法、地域未来投資促進法に関すること)

### ○人事院規則の一部改正に鑑み、職員の育児休業の取得要件の緩和等を行います。

#### ●中央市職員の育児休業等に関する条例中改正の件（施行日：令和4年10月1日）

- 【主な改正内容】
- ・育児休業の取得回数制限の緩和
  - ・非常勤職員の育児休業等の取得要件緩和、配偶者出産休暇等の新設等

### ○公職選挙法施行令の一部改正に鑑み、選挙公営の限度額を引き上げます。

#### ●中央市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件（施行日：公布の日から）

- 【主な改正内容】
- ・市議会議員選挙及び市長選挙における選挙運動の公費負担について、次の選挙公営に係る公営単価の改定(引き上げ)を行うもの。
  - ・選挙運動用自動車の使用(第4条関係)
  - ・選挙運動用ビラ作成(第8条関係)
  - ・選挙運動用ポスター作成(第11条関係)

### ○中央市水道審議会の答申に鑑み、水道料金を改定します。

#### ●中央市簡易水道給水条例中改正の件（施行日：令和5年5月1日）

- 【主な改正内容】
- ・中央市水道審議会の答申に鑑み、本市の簡易水道事業に係る水道料金について、簡易水道利用者の負担公平性を確保するとともに、簡易水道経営の健全化を図るため料金単価等を改定するもの。(第23条関係)

## 請願審査・意見書の提出

### ○加配定数を維持した上での小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の早期実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

- ・請願者 中央市PTA連絡協議会 会長 河野 晴輝  
中央市公立小中学校長会 会長 丹澤 博  
中央市公立小中学校教頭会 会長 仙洞田 和樹  
山梨県教職員組合中巨摩支部 執行委員長 上杉 春樹
- ・紹介議員 笹本 昇
- ・審議結果 採択

### ○加配定数を維持した上での小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の早期実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書

9月26日可決 議会から国へ提出

- ・提出議員 田中 輝美
- ・賛成議員 薬袋 正 小池 満男
- ・要 旨

1. 小学校の35人学級実施に当たっては、現存の加配定数を維持しつつ、教職員定数の増員で行うこと。また、中学校における35人学級の早期実施をすすめること。
1. 深刻な教職員不足を改善する方策として、学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するために教職員定数改善を推進すること。
1. 義務教育の根幹である、教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
1. 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。  
以上の措置を講じられるよう強く要請するもの。

- ・提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 文部科学大臣 財務大臣 総務大臣

## 提言書の提出

今定例会中に開催された新型コロナウイルス感染症対策特別委員会において、新型コロナウイルス感染症や急激な円安などによる物価高騰に対し、市内の農業者支援を求める提言を行うことが決定され、10月11日に市に対して提言書を提出しました。

- ・提言事項

#### 1. 飼肥料・燃料・資材などの価格高騰に対応する効果的な支援対策の実施

本市の基幹産業である農業を守るため、飼肥料・燃料・資材などの価格高騰に対応する中央市独自の支援策を緊急に講ずること。



# 令和4年第3回定例会審議結果

○賛成 ×反対 (小池 章治 議長を除く)

種別	案 件 名	副議長	フォーラム中央										公明党	市民クラブ	日本共産党	無所属	結 果	
		齊藤雅浩	田中一臣	福田清美	井口 貢	伊藤公夫	名執義高	金丸俊明	山本六男	笹本 昇	葉袋 正	田中輝美	田中 清	小池満男	江間政雄	木下友貴		中沢美恵
条例 案件	行政組織条例中改正の件																	
	職員の育児休業等に関する条例中改正の件																	
	議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	簡易水道給水条例中改正の件																	
令和4年 補正 和度正算	一般会計補正予算(第3号)																	
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)																	
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)																	
	介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	田富よし原処理センター事業特別会計補正予算(第2号)																	
	農業集落排水事業会計補正予算(第2号)																	
	上水道事業会計補正予算(第2号)																	
令和3年 決算 和度算定	一般会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○		
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	地域包括支援センター特別会計歳入歳出決算認定の件																	
	田富よし原処理センター事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	簡易水道事業会計決算認定の件																	
	下水道事業会計決算認定の件																	
	農業集落排水事業会計決算認定の件																	
上水道事業会計決算認定の件																		
その他	市道路線認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道路線変更の件																	
請 願	加配定数を維持した上での小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の早期実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	中央市議会委員会条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	加配定数を維持した上での小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の早期実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 市長の

# 行政報告

9月  
定例会



## やまなし県央連携中枢都市圏の形成について

中核市である甲府市を中心として、本市を含めた10市町による連携中枢都市圏の形成について、6月以降も協議を重ね、7月26日に構成首長が一堂に会し、中枢都市である甲府市が圏域の将来像を描き、経済

成長をけん引し、住民の暮らしを支える役割を担う意思を「連携中枢都市宣言」として表明し、人口約59万人規模の「やまなし県央連携中枢都市圏」が正式に形成されました。本圏域内においても、人口減少、少子高齢化の進行、これらに伴う地域経済の縮小、更にはコロナ禍による経済の停滞などが進行しています。地方自治体を取り巻く環境は非常に厳しい状況ですが、今後も引き続き、圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を中心に協議を重ね、本年度中には、中枢都市である

甲府市と本市が、議会の議決を経たうえで、政策面の基本方針や役割分担を「連携協約」として締結する予定です。

## オミクロン株に対応した 新型コロナウイルスワクチンの接種について

新型コロナウイルス感染症については、オミクロン株の猛威により感染拡大が止まらず、連日厳しい状況が報告されている中、8月8日に開催された厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、オミクロン株に対応したワクチンの追加接種について、10月中旬以降を想定し、実施する方針が示され、その後、8月30日には、9月中の前倒し接種の検討が開始されました。現時点では、2回目の接種を終えたすべての方の接種が想定されているのみで、詳細については示されませんが、内容が決まり次第、通知やホームページ等で

お知らせし、迅速に対応できるよう現在準備を進めています。今後も市民の皆様生命と生活を守るために、感染防止対策の徹底に全力で取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

## 「災害時における仮設建物等の提供に関する協定の締結について」

7月20日に株式会社内藤ハウス様と、市内において地震、風水害、大規模火災等の災害が発生した場合に、相互の協力により、市民生活の早期安定を図るこ



災害時に提供される仮設建物等のイメージ

とを目的として「災害時における仮設建物等の提供に関する協定」を締結しました。各地で異常気象による豪雨災害などが頻発しており、いつ災害が発生しても不思議なことではありません。今回の協定締結により、防災体制のより一層の強化と、災害への備えが充実することになり、市民の皆様の安全と安心に寄与することができたものと思っております。



災害時における仮設建物等の提供に関する協定 締結式

**Q** 都市計画マスタープランに基づく施策と課題について

**A** 優先順位を検討し、主要幹線道路の整備促進に取り組む

福田 清美 議員

**福田議員**：分野別まちづくりの土地利用について

**市長**：核となる多様なま

ちの拠点の形成と市街地の特性に応じた土地利用の誘導、また優良農地等の

特性に応じた土地利用の形成を計画的に推進していく。顕在化する様々な問題も関係各課と連携を図り、計画的かつ適正な土地利用の誘導を図っていく。

**福田議員**：地域間の交流を促す主要幹線道路網の整備促進は

**市長**：平成28年2月に策定された「中央市幹線道路網整備計画」を基に都

市計画マスタープランでは道路・交通まちづくりの方針が示され、順次計画的に道路整備を進めている。

今後も整備計画に基づき進めていくが、まずは、市全体のまちづくりの方向性を踏まえつつ、優先順位を検討する中で、主要幹線道路の整備促進に取り組んでいく。

**福田議員**：鳥獣害防止柵の延伸、早期の設置計画は

**建設課長**：農作物などの被害の実態等を丹念に調査し、遊休農地の解消と農業振興も併せて、費用対効果を検証しながら、効果的な方策を検討していく。

【関連質問】

金丸俊明 議員

江間 政雄 議員

**Q** 豊富小学校通学路の安全確保について

**A** 各学校において、教職員及びPTAを中心に対策を講じている

**江間議員**：豊富小学校通学路の安全確保は

**教育総務課長**：子どもたちがより安全で安心に登

下校できる通学路の確保に向けては、現在各学校において、教職員及びPTAを中心に対策を講じているところである。今後も各学校から子どもたちの安全確保に向けた相談等があれば、市教育委

員会において、指導等の対応を行う。

**江間議員**：二宮金次郎像

について

**建設課長**：市道3693号

して道徳教育に役立ててはとのことだが、タブレット等を利用したICT教育などのいろいろな方法により道徳教育を含めた教育を推進することも可能なので、公費による像

の復活は考えてない。

**江間議員**：県道変則五差

路と通学路(市道3693号線)について

線は、合併以前に道路わきの開渠の水路を蓋付きの水路に改良整備し、道路の有効幅員を広げ、現在の状態になったという経過がある。誰もが安心・快適に利用できる暮らしの

道づくりは、道路自体を整備する方法のほか、地域をよく知るドライバーのスピードを出さないなど

の安全運転の意識、また、譲り合いの気持ちからも

成り立つものだと考える。現状の交通状況を鑑みて、早急に整備が必要な道路であるとは考えてない。

【関連質問】

名執義高 議員

**Q** **A**

**命の水を守るⅢ  
100年後の水へつなぐ**

**流域のあらゆる関係者が、対策を  
協働で行う流域治水に取り組む方針**

**名執 義高 議員**

**名執議員**：総合的な雨水  
対策について

況やその連携の可能性を  
整理検討後、整備すべき

**市長**：平成20年12月の市  
議会定例会において、「市  
の自然条件、被災特性、  
治水、地下施設の整備状

水準や被災の軽減効果に  
も配慮しながら、財政上  
の制約を踏まえた上で段  
階的に進めていく」旨の

答弁をした。

現在の状況は、令和3

年6月に山梨県が「山梨

県流域治水対策推進基本

方針」を策定したところ  
である。策定の要旨とし

て、気候変動に伴い全国

的に広域計画をはるかに

上回る規模の豪雨が発生

しており、この傾向はさ

らに高まることが想定さ

れるため、治水事業をこ

れまで以上に充実・強化

することに加え、流域の

あらゆる関係者が、ハー

ド・ソフト一体となって

対策を協働で行う流域治

水に取り組む方針となっ

ている。

本市においても、富士

川流域治水協議会、また

鎌田川流域治水検討会の

構成自治体となっている

**小池議員**：中央市の水害  
対策について

建設事務所で管理、施工し、  
例年台風シーズン前に藻

原三号橋から上流の砂防  
堰堤まで、浚渫を令和2年

**建設課長**：甲府盆地は、大

雨時リスクの高い河川が

多くあり、線状降水帯の

発生等による長時間の豪

雨の場合には、浸水被害を

引き起こす可能性が高く

なり、河川の能力を維持す

るためにも浚渫、除草等の

管理が重要である。常永川

全川の浚渫は、山梨県中北

堆積ではないことを確認、

現在観察中である。山之神

地区及びリバーサイドタ

ウンを経由して常永川に

合流する2つの水路は市

の管理で、所々草の繁茂が

確認できるので、定期的な

除去が必要である。浅利川

関連の浚渫は県管理で、関

度には、繁茂が著しい区間

の伐木を行っている。笛吹

川系統の浚渫は、神明川は

今年度、鎌田川合流点から

洪川分派までの間の葦の

除去及び河床整生を、中央

道から洪川分派堰まで浚

渫を県により実施中、山

王川は、環状道路並行部の

一部箇所を浚渫を行う予  
定である。東花輪川は、市  
の管理であり、堆積状況等  
を観察中である。

いずれの河川において

も常に土砂の堆積や樹木

の繁茂状況を観察してお

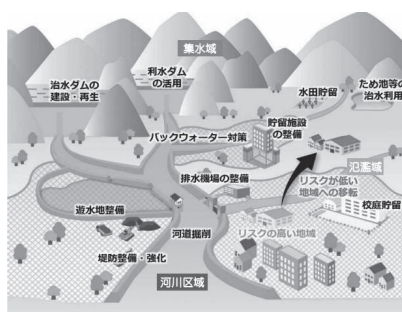
り、早急な浚渫の実施が必

要となった時には直ちに

対応していく。

**【関連質問】**

名執義高 議員



出典：「流域治水」の基本的な考え方（国土交通省）  
([https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/pdf/O1\\_kangaekata.pdf](https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/pdf/O1_kangaekata.pdf))

## Q 洪水・土砂災害ハザードマップの周知について

**A** 住民への周知や理解の向上に繋がられる内容等を検討し、前回同様全戸に配布していく

**金丸 俊明 議員**

**金丸議員**：洪水・土砂災害ハザードマップの周知

について

**危機管理課長**：本市では、

自主防災会長に対し、「中

央市防災マニュアル」を

活用し、洪水・土砂災害ハ

ザードマップの説明や、防

災リーダー養成講座等で、

洪水・土砂災害について講

習会の実施、梅雨時期や

台風等が心配される季節

に繋げられる内容等を検

討し、全戸に配布していく。

総合防災訓練で、水害を想

定した訓練を計画し、より

一層の本市の地域特性に

ついて理解を深めていた

だく訓練内容等を検討し、

実施していく。

**金丸議員**：避難行動要支

援者の個別避難計画の作

成について

を前に「広報ちゅうおう」

を活用し、関連資料の掲

載などを行っている。ま

た、昨年8月に市内52ヶ所

に浸水深表示板を設置し、

洪水について認識を深め

ていただいている。洪水ハ

ザードマップ（中央市防

災マニュアル）は、来年度

見直しを計画しており、住

民への周知や理解の向上

に繋げられる内容等を検

討し、全戸に配布していく。

総合防災訓練で、水害を想

定した訓練を計画し、より

ることが困難な要支援者

が、災害時にどのような

避難行動をとれば良いの

か、一人一人の状況に合

わせて作成する個別の避

難計画である。まずは個

別避難計画の重要性を広

く周知し、作成マニユア

ルや支援方針等の整備、

庁内外の連携体制の構築

に努め、個別避難計画の

作成を進めていく。

ルは、統廃合に関する実

施計画を策定し、詳細が

ある程度まとまったとこ

## Q 開かれた市政について

**A** 直接対話を通じて、市民協働による新しいまちづくり、信頼される、透明性の高い市政づくりに取り組む

**山本 六男 議員**

**山本議員**：市民と語る会

について

**市長**：市民の皆さまの声

を直接聴かせていただき

たいとの思いから、フリー

トークで対話する事業「市

民と語る会」で8月に合

計3組とお話しをさせて

いただき、あくまで私の

感じた印象だが、皆さま

には好意的に対応してい

たと感じている。色々な

合について

意見が聞けたことと市民

の皆さまの声を聴くこと

の大切さを再認識できた

ことが成果だと感じてい

る。これからも市民の皆

さまとの直接対話を通じ

て、市民協働による新し

いまちづくり、信頼される、

透明性の高い市政づくり

に取り組んでいきたい。

**子育て支援課長**：中央市

公共施設等第1期個別計

画では、各施設の機能的

な総合評価を行い、玉穂

保育園と豊富保育園は現

在、どのような手法やス

ケジュールにより統廃合

していくか検討している。

【関連質問】

木下友貴 議員

これら統廃合のスケジュー

**山本議員**：保育園の統廃

れら統廃合のスケジュー

木下友貴 議員

**A Q**

**おくやみ窓口の設置について**

**現段階では検討していない**

**田中 輝美 議員**

**田中議員**：「おくやみ窓口」の設置について  
**市民環境課長**：本市では、窓口死亡届が提出された際に、後日死亡届に伴う手続きについて、「18項目

事務手続きを把握することにより正確かつ円滑な窓口対応ができるよう努めており、おくやみ専用窓口の設置は、現段階では検討していない。また、よりわかりやすい内容で、遺族の方の心情に寄り添えるような対応を考え、おくやみハンドブックの作成に向けた検討を進めていく。

**田中議員**：自主防災組織生活の負担軽減と地域経済活性化に効果的な対策を講じていく。具体的な物価高騰対策として、昨年度実施した商品券事業を再度実施する。この商品券を市内の店舗等で消費してもらうことにより、市民の皆さまの家計への支援と地域経済の活性化を図っていきたい。また、燃料代高騰を受けての生

と地域防災リーダーの連携による新たな地域コミュニティ形成の重要性及び防災士の役割について

**危機管理課長**：平常時から自ら取り組む自助、地域で取り組む共助の意識が必要不可欠である。防災士のいない地区については、自主防災会長等を通じて市の防災士取得補助金を活用し取得を促進していく。

防災士とは、日本防災士機構から認定され「自助」「共助」を原則として、防災に対する充分な知識、技能及び意識を有し、社会の様々な場で減災と地域防災力向上のための活動を行い、重要な役割を担うものと認識している。

**田中議員**：自主防災組織生活の負担軽減と地域経済活性化に効果的な対策を講じていく。具体的な物価高騰対策として、昨年度実施した商品券事業を再度実施する。この商品券を市内の店舗等で消費してもらうことにより、市民の皆さまの家計への支援と地域経済の活性化を図っていきたい。また、燃料代高騰を受けての生

活困窮者や社会福祉施設などに灯油の購入費を補助する福祉灯油の実施については、燃料代の高騰により負担増となつている事業者は他の業種等にも及んでいるので、今後国、県の原油価格・物価高騰対策なども踏まえ、総合的に検討していく。

**木下議員**：物価高騰対策、市財政について

【関連質問】  
 名執義高 議員

**Q**

**物価高騰対策 — 市民への幅広い支援について**

**A**

**昨年度実施した商品券事業を再度実施する**

**木下 友貴 議員**

**木下議員**：市民への幅広い支援について  
**市長**：給食費、国保税、介護保険料、上下水道料金等の減免については、現段階では、受益者負担の原則、持続可能な医療保険運営、公営企業の経営原則等に鑑み、市独自に「給食費、税・料」の減免を実施する考えはないが、減免とは異なる形で市民

生活の負担軽減と地域経済活性化に効果的な対策を講じていく。具体的な物価高騰対策として、昨年度実施した商品券事業を再度実施する。この商品券を市内の店舗等で消費してもらうことにより、市民の皆さまの家計への支援と地域経済の活性化を図っていきたい。また、燃料代高騰を受けての生

活困窮者や社会福祉施設などに灯油の購入費を補助する福祉灯油の実施については、燃料代の高騰により負担増となつている事業者は他の業種等にも及んでいるので、今後国、県の原油価格・物価高騰対策なども踏まえ、総合的に検討していく。

**木下議員**：物価高騰対策、市財政について

**財政課長**：良好な財政を活用し、市民生活を強く支援すること、引き続き持続可能な健全財政を維持し、他の災害、今後の主要事業等にも備え、今後とも市民生活を強く支え続けること。これらを両立し、本市の財政運営について、今後とも鋭意努力していく。



総務教育常任委員会

審査ポイント

東花輪駅前の防犯カメラについて

一般会計補正予算（第3号）

〈政策秘書課〉

**問：**道の駅に移住定住推進事業の相談スペースを設けるということだが、相談員として誰か常駐するのか。

**答：**常駐はしない。週1日政策秘書課の職員1名が、道の駅に来られるお客様を中心に移住定住の相談やシティープロモーションも兼ねて対応する。対応については状況をみながら変えていく予定。

〈管財課〉

**問：**東花輪駅前の防犯カメラは、どの方向に設置するのか。また、水位観測用として1機設置してあるカメラを併用することは考えないのか。

**答：**主に駐輪場を撮影する。数年前に自転車の盗難やいたずらなどがあったため、設置をする。水位観測用のカメラの併用は、撮影する距離の関係で厳しい。

一般会計歳入歳出決算認定の件

〈税務課〉

**問：**昨年、中央市の債権管理条例が制定されているが、徴収率等に影響が出ているか。

**答：**条例は令和4年4月からの施行で、まだ徴収率に影響は出ていない。6月に債権管理検討委員会を開催し、諮問を行い検討している。

**問：**昨年の差押えの件数は、何件あったか。

**答：**359件あったが、これ以外に、県との合同捜索で財産調査を行っているものが8件あり、合計で367件となる。

〈生涯教育課〉

**問：**高齢者向けのスマホセミナーの参加状況は。

**答：**基本編と活用編2回に分けて実施をし、基本編では16人、活用編では19人、合計35人の参加者があった。

厚生常任委員会

審査ポイント

保育士業務の負担軽減について

一般会計補正予算（第3号）

〈子育て支援課〉

**問：**保育士業務のICT化について詳しく説明を。

**答：**懸案事項の保育士業務の負担軽減、業務改善策の一つとして導入ということになるが、今回予算計上したのは、保育業務の支援システムであり欠席連絡や登園記録、お便り帳機能、緊急連絡など、業務の効率化が図れるもの。今年度中に2園試行導入して、検証を行ったうえで問題がなければ、来年度中の本格導入を進めていく。

**問：**子宮頸がんワクチンの償還について、対象者は何人ぐらいか。

**答：**ワクチン再開については、1,031名に通知している。その中で償還払いの対象者となるワクチン接種済み者は不明だが、問い合わせについては4,5件いただいている。

〈健康増進課〉

**問：**国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件

**問：**一般会計からの繰入金について、子どもの医療費を窓口で無料にする関係で、国から特別調整交付金分が減らされるとい

**答：**不足していた部分は、国保税の徴収等でまかなえた。また、今回は流用や充当を行ったため、法定外ルールとしての繰り入れはしなかった。

一般会計歳入歳出決算認定の件

〈健康増進課〉

**問：**ワクチン接種に対して、総合賠償保険料を払っているが、対象になった事例はあるか。

**答：**現在までに、そのような事例もなく事故等の報告もない。

**問：**一般会計からの繰入金について、子どもの医療費を窓口で無料にする関係で、国から特別調整交付金分が減らされるとい

**答：**不足していた部分は、国保税の徴収等でまかなえた。また、今回は流用や充当を行ったため、法定外ルールとしての繰り入れはしなかった。

## 産業土木常任委員会

### 審査ポイント

#### 商品券の配付方法は

#### 簡易水道給水条例中改正の件

##### 〈水道課〉

**問：**簡易水道事業は、企業会計として取り組んでいく中で採算性の問題があつて非常に厳しい指摘をされておられ、赤字があるということですが、解消に向けての将来予測は。

**答：**今回の条例改正は、簡易水道料金を田富上水道に合わせ、中央市全体として統一料金を図っている。この改定により、大口事業者の水量にもよるが、令和5年からは、約4千万円を超える事業収益が出てくると思われる。一般会計から借り入れをして運用している部分もあるが、その辺を解消することを目指しながら進めていきたい。

#### 一般会計補正予算（第4号）

##### 〈産業課〉

**問：**商品券の配付方法について、高齢者で交通手段や足が悪い方などへの配慮として簡易書留等が良いのではないかと

と思うが、配付方法の検討はしたのか。

**答：**簡易書留の検討もしたが、交付券事業等で二重交付等が発生しているということを受け、来ていただいて確実にお渡ししたい。他の市町村で、簡易書留で送ったが入っていないという事例もあり、今回も苦渋の決断ではあるが、手渡しという形にした。

#### 一般会計決算認定の件

##### 〈建設課〉

**問：**更正橋耐震補強工事とあるが、国の補助で点検し、補修したと思うが、他にも市内で補修しなければならない橋はあるのか。

**答：**点検はローリング式に毎年行い、補強補修が必要な橋に対して補助金をもらいながら施工していく。令和4年度は、成下橋が補強対象になっていたのので、補強補修しながら長寿命化を図っていく。

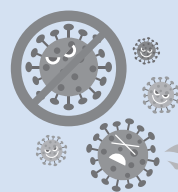
## 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

#### 第16回新型コロナウイルス感

染症対策特別委員会を行いました。

前回に引き続き、新型コロナウイルス感染症の経過報告を求めるとともに、コロナ禍等の影響で高騰している燃料や飼料の影響を色濃く受けている農業者への支援策を市に対して提言することが決定されました。

第16回新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を行いました。前回に引き続き、新型コロナウイルス感染症の経過報告を求めるとともに、コロナ禍等の影響で高騰している燃料や飼料の影響を色濃く受けている農業者への支援策を市に対して提言することが決定されました。



## 議会改革推進委員会

議会改革推進委員会では、議会の責任や役割を果たすため必要とする議会改革への取組みを協議しています。今回は、主にタブレット端末の導入について中央市議会としての方向性を出すための報告書について協議を行いました。導入することによる効果やコストなど細かい点についても協議を重ねました。

中央市議会としてタブレット端末を導入すると決定されました。この決定をもとに来年度の導入に向け予算要求等を進めていきます。今後も導入に向けて、ルール作りなどしっかり協議を進め、結果など進捗状況を報告していきます。

最終日の議員協議会にて委員長より報告書の内容を報告し、



## 閉会中 の 勉強会

### 総務教育常任委員会

- ◆日 時 令和4年7月11日（月） 午前11時～
- ◆テーマ 「給食センターの業務・施設内容と  
物価高騰による影響と対応について」

総務教育常任委員会では、学校給食センターにおいて、上記のテーマで勉強会を行いました。センターの業務や施設については、調理工程ごとに実際の写真や映像を交えながら説明を受け、物価高騰による給食への影響については、現時点では大きな影響はないが今後の動向にも注視していく必要があるとの報告を受けました。

委員からは、今後の物価高騰に対する対応についての質問や、SDGsの観点から残菜の活用についての提案等がありました。



給食も試食しました

## 閉会中 の 勉強会

### 厚生常任委員会

- ◆日 時 令和4年7月21日（木） 午後1時～
- ◆テーマ 「子育て支援センターの事業内容と現状について」

厚生常任委員会では、今年4月にオープンした子育て支援センターの現地視察を行いました。主に施設の概要については担当課、実際に行っている事業の内容や、現状の利用者数等については指定管理者から説明を受けました。

委員からは、設備の安全性の確保についてや利用者からの声などについて質問が出ました。その後、施設内を見学し、実際に親子で利用されている方々の様子を確認しました。

## 閉会中 の 勉強会

### 産業土木常任委員会

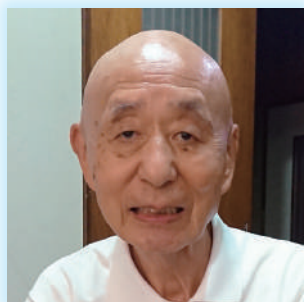
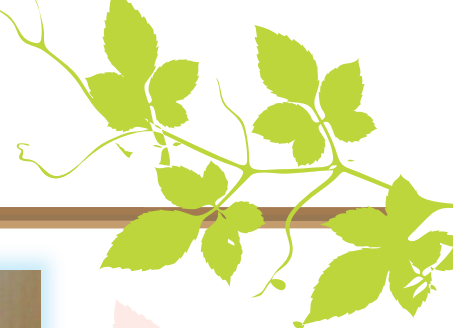
- ◆日 時 令和4年7月21日（木） 午前9時～
- ◆テーマ 「総合防災公園建設事業・田富玉穂大津線  
道路改良事業の内容と進捗状況等について」

産業土木常任委員会では、総合防災公園と田富玉穂大津線の現況について、現地を視察しながら所管課から説明を受けました。

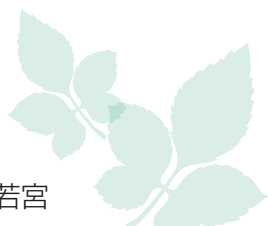
総合防災公園では、説明を受けた後、図面を見ながら実際に公園を一周して回り、エリアごとの状況や工事予定等について確認をしました。田富玉穂大津線では、これまでの整備内容や、今後の安全対策工事について説明を受けました。



# 市民の談話室



若宮  
大村 弘 さん



## 自信をなくしたあの日の 勇気ある撤退

“好き程ものの上手”という。上手か否かは他人の評価、自分では決められないが、私にとってスキーは子供のころからの長い友。

若さが故の最盛期時代、混雑を避け先ずは上級コースに直行。大衆の裏を突き昼食は後回し、午後2時頃から「稼ぎどき」とばかり、リフト券はフル活用ゲレンデを縦横無尽。これぞ私の秘めたる裏技であった。

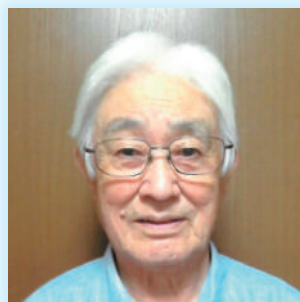
さて、数年前、古き友から思わぬスキーの誘い、「昔取った杵柄」と小躍りして応諾、当日友の心遣いは、不本意にも「初心者コース」。

でも久し振りに雪上に出た気分には大満足。運命の罫の潜むを知らずである。不覚にも子供たちの遊ぶ眼前で転倒、照れ隠しの笑みまでは余裕、しかし今度は起き上がれない。

何ともブザマな姿、されどこれが後期高齢者たる浮世の現実。とにかく、この場は早く逃れるに限る。心ならずとも負け犬同様、すくすくゲレンデを去ることにした。

しかしそこには、もう往年のプライドも未練もなかった。

身支度して天空を仰げば“山は泰然、風飄々として”勇気ある撤退を見送ってくれた。



上三條  
石渡 京一 さん



## 移住者の独り言

退職後の人生を地域への仲間入りに託して玉穂学級に入学した。以後、俳句、絵手紙、まごころ学級に学び、ことぶきクラブでは、グランドゴルフ、ゲートボールなどを楽しんできた。また、玉穂南小学校の児童の登校時、交差点で挨拶を交わす朝の楽しみも経験している。上三條には百歳体操を共に楽しむ二十余名の女性の仲間もいる。

高齢者が身体を動かし、会話と笑いがある集いは、高齢者の健康に良いと云われている。見えない効果だが仲間のおかげでこの十五年健康で過ごせた。そして自分もまた仲間の健康に貢献していると自負している。

私は近隣以外に知人もない移住者だった。退職後の人生を地域への仲間入りに踏み出した今は多くの仲間を支えられ幸せである。

中央市は安心して住める街だ。色んな仲間がいる。住んで良かった街である。

## 編集後記

今定例会は、9月初旬の台風11号を始めとし3度の台風を心配しながらの議会となりました。各地で被害を受けた皆様には、心からお見舞い申し上げます。中央市は、釜無川、笛吹川の2大河川の合流部を間近にする地域で支流も多く、河川氾濫など豪雨災害への備えが特に必要とされています。

自然災害やコロナ禍、ウクライナ情勢などが気になる日常ですが、本市においては、子育て支援センター、防災公園スポーツ広場などの活動的施設や大型物流センター・ロジパークの一部が稼働し始めました。また、10月

から庁内に新たな専門部署として「企業立地推進室」が設置されました。

今後はリニア効果を見据えた土地利用による、雇用の創出と経済の活性化にスピード感をもって取り組んでもらい、定住・交流人口の増加に期待したいと思います。

議会広報  
編集委員会

委員長 葉袋 正  
副委員長 中沢 美恵  
委員 山本 六男 木下 友貴  
田中 輝美 小池 満男